

特定非営利活動法人

# 白山の自然を考える会



会報 しらやま  
NO.110

【理事長】 石野 洋  
〒921-8817  
野々市市横宮8-5  
つばき通り百番ビル206号

【事務局・連絡先】  
深田和人 〒921-8105  
金沢市平和町3丁目18-10  
C55-23  
TEL 076-247-5463

<http://hikusankangaeru.wix.com/mainpage>

【郵便振替口座】  
「白山の自然を考える会」  
00700-0-8593

【定 価】 140円



## 第27回総会報告

理事 高橋 外男

3月13日（日）午後1時30分から金沢勤労者プラザで第27回総会が開かれました。NPO法に基づく正社員13名のうち出席11名、書面による委任2名で総会は有効に成立しました。参加総数33名。来賓及び理事長の挨拶の後、議長を選出し議題

の審議に入りました。1号議案 平成27年度事業報告。2号議案 平成27年度決算報告。3号議案 平成27年度監査報告。4号議案 平成28年度事業計画。5号議案 平成28年度予算案。6号議案 任期満了に伴う役員改選。以上の質疑が行われ、何れの議案も満場一致で承認されました。

## 記念講演報告

高橋 外男

総会終了後、三谷幹雄氏(石川県地学教育連絡会「石と川」の会事務局長)に「白山火山について考える」と題して講演をして頂きました。地球の内部構造やマントル対流、大陸が移動するプレートテクトニクスの説明や、福井県の東尋坊でも見られる、溶岩が冷えて出来る柱状摂理等、興味深いお話でつい身を乗り出して聞き入りました。中でも特に関心を引いたのが白山の噴火の歴史で、白山の溶岩は粘性が高く、雲仙普賢岳で大火砕流を引き起こしたタイプと同じような溶岩ドームが形成される可能性が有り、白山御前峰にある「オタカラグラ」も溶岩ドームであることを知りました。また、粘性の高い溶岩の火山は爆発的噴火を起こしやすいとのことで火山としての白山の認識を新たにしました。

お話の後参加者から多くの質問があり、時間制約のなか、丁寧にお答え頂き大変勉強になった講演会でした。



<講演中の三谷幹雄氏>

※8 ページに関連写真があります。

## ハクサンシャクナゲ

富士山に白山の代表的な花がある？五合目お中道に背丈1・5mのハクサンシャクネゲの群生があり、シャクナゲ街道という。

白山では七月初め室堂近くに風雪に耐え背が低いハクサンシャクナゲが見られる。花びら5枚、おしべ十に対し、低山のホシシャクナゲの花びら7枚、おしべ十四と花の識別がしやすい。

ハクサンシャクナゲの葉は厚く、縁が裏面に巻き込む。淡紅色のさす白花に緑の斑点が入り、細い茎のため花は頭を垂れている。

絵と文 金栄 健介氏

※なお、この原稿は2012年12月3日に北陸中日新聞(朝刊)に掲載されたものを、著者及び北陸中日新聞の許可のもと転載しています。

## 事務局短信

- 2月5日(金) 会報発送・運営会議 7名
- 20日(土) 生物部会(雨天中止)
- 29日(月) 会計監査 5名
- 3月4日(金) 理事会、運営会議 9名
- 13日(金) 第27回総会 33名
- 31日(木) 年間行事保険契約
- 4月1日(金) 運営会議 6名
- 17日(日) 春の詩パート27 7名
- 19日(火) 法務局へNPO法人更新登記申請

## 春の詩パート 27 に参加して

堂角 正美

4月17日(日)白山市河内町福岡、館裏山での観察会に今回初めて参加させていただきました。この日は朝から雨と強風に見舞われ、このような天候でまさか山へは入らないだろうと思っていましたが、ネットの天気予報では、”次第に天候は回復する模様”とのこと...そして、その予報を信じて、いざ山へ...

普段、週末のウォーキングでは、ただ黙々と歩いているだけですが、山を歩き始めてすぐ林道脇の草花に夢中になっていました。私は恥ずかしながら植物の名前などまったくとっていいほど知らないのです、すべてがめずらしく感じられました。山野草では、イチリンソウ、キバナイカリソウなど、スマレでも色々種類があって、ひとつひとつ皆さんに教えていただきながら山を登っていきました。

やがて雲の切れ目から青空が...そして予報通り天候も徐々に回復してきました。時折の強風に山の木々がうごめいているようでした。白い花のカスミザクラ、ザイフリボクなど、雨上がりの木々の新緑が一段と鮮やかに写りました。最初はどうかと思いましたが、春山のたくさんの自然にふれることができ、貴重な体験をさせていただきました。ご一緒した皆様...本当にありがとうございました。



※8 ページに関連写真があります。

## 「白山の自然を考える会」

に入会して

中野 純子

近所の知り合いに「白山の自然を考える会」に入ってみないかと、25年前に誘われた。

幾年も会報を読み、会費を払うだけの会員であった。けれども、数年前から、私も行事に参加したいと思い、活動するようになった。

すると昨年、会計事務をやってくれないかと頼まれた。この歳になっての会計事務は負担が多すぎるので、一晩考えたが、引き受けることにした。初めての仕事なので、皆さんにいろいろと教えていただき、また助けていただき、今年3月、総会で、会計報告を無事行うことができた。いろいろな質問にも答えられるように準備することが大変であった。

今年は2年目ですが、記録をしっかり取って、迷惑のかからぬように頑張りたいと思っている。

昭和36年に、金沢大学山岳部員であった兄が白山の雪山で遭難した。あれから50数年が過ぎたが、この会が永く存続することを心から願っている。

そして、今は亡き父母が喜び、応援してくれているであろうと思うと、力が湧いてくる。

### 会員情報

\*新入会員

\*カンパ

山つ村田	家倉	平八	垣本	哲夫
西嶋廉太郎	森	洋	渡邊	晶子
三谷 幹雄	永吉	和代	加藤	正現

\*お便り

○「ほんの気持ち (カンパ添書)」

渡邊 晶子

(続) 山路きて 深田百名山完登記  
第6回

## 「山頂未踏の山々」

室谷 博子

“本峰の絶頂には祠があって、その前に  
献納の宝剣の、錆びて折れたのがたくさん  
散乱していた、、私はその中から形のよい  
剣の鉄片を選んで持って帰り、”

深田久弥「日本百名山 薬師岳」新潮文庫

身近な山でありながら、私は薬師岳（富  
山県 2926m）＜30＞の山頂を踏ん  
でいない。昔、山麓有峰の村人が、鉄製の  
剣を携えて登拝し、頂上の祠に奉納したと  
いう、その祠を私は未だ、拝していない。

折立を出発し5時間余、薬師岳山荘へ着  
いたのは午後3時半過ぎのことで、あたり  
は濃い霧の中に沈んでいた。夕暮れ近い山  
道には人の気配が無く、私は単独行だった。  
昭和38年1月、冬山合宿に参加した愛知  
大学山岳部員13名が、猛吹雪の中、広い  
稜線で道に迷い、東南稜を下りて全員が命  
を落とした。折立の登山口で見た遭難碑が  
頭をよぎった。

山頂の一角と思われるゴロゴロした礫  
岩を数か所踏んだだけで、すぐ元来た道を  
引き返した。山荘のロビーに入ってホッと  
一息ついたのも懐かしい思い出。

完登記を書くにあたって調べ直すと、遭  
難碑はもう一か所、薬師峠と山荘の中間  
点・薬師平にも立っていることが判明した。  
私は登山客が憩う太郎平小屋の人々の賑  
わいを離れ、一人歩いていた心細さの中  
で見たことになる。

深田久弥が選んだ百名山の中で、山頂を  
踏んでいないのは4座ある、

“山頂を踏まずに、完登を称するのはおか  
しい”という人もいるだろう。事実、山頂  
を踏む為だけに、登り直した人を知ってい  
る。

逆に、“富士山だけはワザと頂上を踏ま  
なかった”うえで完登者を名乗る人もいる。  
彼女の理由は明白だ。自然破壊が進む富士  
山は、山の品格に欠けると言う。

多すぎる山小屋の数、オーバーユースの  
トイレ問題、人が溢れる登山道、荷揚げ用  
のブルドーザーが山腹を走る、、、

「白山の自然を考える会」の会員には、  
環境破壊に異を唱える人が多いわけで、後  
者の主張を是とし、前者をピークハンター  
と揶揄する。私も同感である。

迷いは有ったが、ツアー会社の富士山登  
山に参加したのは、各地の山から、富士山  
を望むことが多かった所為だ。東京の高尾  
山からも、丹沢からも、大菩薩嶺からも甲  
武信岳や鳳凰山からも、富士は目立って秀  
麗な姿を見せてくれた。長い尾根を喘ぎな  
がら登り詰め、稜線に飛び出た所で、富士  
山（山梨県 静岡県 3776m）＜86  
＞に向き合うことが多かった。見惚れるほ  
どの美しさ。

その感動の主な原因は、富士山が広大な  
樹海を裾に纏った独立峰、左右均斉のとれ  
た美しいプロポーション、いわゆる成層火  
山（コニーデ）にあるのだろうと思う。

けれども、富士は“眺めるもの”で“登  
るもの”ではない。

歩き出しは5合目（2305m）だが、  
自動車道・富士スバルラインの終点でもあ  
り、乗用車824台、大型バス92台の駐  
車場、韓・中・英・独他の言語が飛び交う  
国際観光地でもある。人混みを抜けて、山  
道に入っても、見るべき植物はオンタデの  
み。それでも、砂礫の斜面が続く登山道の  
脇に咲くオンタデは、幾分、水気を連想さ  
せて、埃っぽい熱気を和らげてくれる。け  
れども、それも6合目までだ。

7合目(2800m)には山小屋が4軒。ここで仮眠の後、夜11時に出発。ご来迎を見るための出発だが、振り返ると、暗闇の中、眼下に、東京の灯火がまばゆく瞬くのが見える。大都会は眠らなくても構わないけれど、なぜ、真夜中に登るのだろうか？

眠気に負けて、私は一人引き返す。登山者が翳すヘッドランプの明かりが延々と連なり、登山道で迷うことは無い。結局、私は8合5勺(3450m)を最高地点として、山頂は未踏のまま放棄し、今に至っている。

否定的に学んだことは多い。

2013年、富士山はユネスコ世界文化遺産に登録された。

けれども、それは「信仰の対象と芸術の源泉」として、文化としての富士山であっても、「後世に残すべき、貴重な自然を有する」富士山としての認定ではない。

ちなみに、小笠原諸島は「大陸と一度も陸続きになったことが無く、固有種が多数生息する貴重な生態系」として、知床は「北半球における流氷の南限」としてそれぞれ、自然遺産の認定を得た。

毎年8月に開かれる「富士登山駅伝」は、御殿場市の陸上競技場(標高521m)を出発し、山頂の富士山本宮浅間大社奥宮で折り返す、標高差3199mの過酷なレースを謳い文句にしているが、走者の足元は岩まじりの砂地だ。

(注 大砂走りルート:宝永年間の大爆発で吹き上げられた火山噴出物が急斜面を構成し、小石や砂混じりの登山道は、一步踏み出すと、足がもぐりこんで、前のめりに走る感覚になる)

土煙を上げて走り、転倒者続出、全国各地から自衛隊チームが訓練を兼ねて参加する大会、言ってみれば、富士山を舞台とした軍事演習か？今年も8月7日に開催

されるという。

他に、富士山頂を目指す山岳マラソン「富士登山競争」も、毎夏7月末おこなわれる。

三霊山と崇められた富士山と、立山と、そして白山。

富士山は斯くの如く。立山の室堂平も石畳におおわれた観光地である。

霊山を謳って、観光登山者を呼び込むことをしてはならないと私は思う。来夏、開山1300年を迎えるらしい白山を巡る民間・行政の動きに、私たちは注視する必要があるようだ。

深田久弥「日本百名山」新潮文庫  
佐野充編著「富士山の単語帳」富士学会企画  
加藤久晴「傷だらけの百名山」リベルタ出版

文中< >は登頂順序である。



シナノキンバイ

## シリーズ「白山麓の民謡」第2回

加藤 正現

## 「おおつえくずし」

十八か所の名所名物、白山の山の大権現様、風嵐の、泰澄大師の御作物、牛首蚕飼に大蚕飼、島の名高い晒布、下田原鋏から棒に、鵠ヶ谷栗餅、深瀬の桧笠、釜谷ぼうけ、(ドッコイ)、五味島ごんぼに、女原輪竹、瀬戸のいちよの木、荒谷はばけ、尾添の一里野に、二口や炭を焼いて暖かな

何をしようにも かをしょにも、こうなりや二人の縁じゃもの、せけばせくほど、なおなつかしや、一日あわずに居らりよか、たとや、親達や承知せんでも、出雲の神様の、結ばしやんした縁じゃもの、(ドッコイ)、ここで添えなきや、いずこでも、二人ずれ、蝦夷や長崎やまたまだおろか、お月さんや、お日さんの、出ない国でも、主と添えぬならいとやせぬ

白山市桑島地方に伝わる祝宴の席で歌われる唄である。もとは機織りの時歌われた作業歌だったといわれている。白山麓十八か村のなかの名所や名物が歌われている。白山麓十八か村とは、江戸時代には天領として幕府直轄地であった。牛首(白山市白峰)の山岸家は、代々十八か村の大庄屋をつとめてきた名家である。島(桑島地方)、深瀬、五味島は、昭和54年の手取川ダムの竣工に伴い、水没した。なお、五味島は私の母の生まれ故郷であり、私も幼いころ何度か訪れた記憶がある。

<参考>CD「白峰村の民謡」

## 出かけてみませんか

## 春の自然観察会

日 時：5月15日(日) 8時集合

山 域：金沢市 吉次山

集 合：大桑橋南詰 児童公園駐車場

参加費：500円(保険料含む)

連 絡：室 谷

090-4320-8871

※詳細については、同封のチラシをご覧ください。

## ホームページが新しくなりました

## ◆白山の自然を考える会

<http://hakusankangaeru.wix.com/mainpage>

素敵な白山の写真が、トップページを飾っています。ぜひ、ご覧下さい。

## ◆チブリから考える白山の登山道整備

<http://hakusan-chiburi.wix.com/home>

登山道整備活動について詳細情報を掲載したページです。こちらも、ご覧下さい。

## 編集委員 大募集!

当会では、会報の編集に携わっていただける方を大募集しています。あなたの感性を、ぜひ当会の会報に活かしてみてください。興味のある方は、下記までご連絡ください。

<加 藤 090-7749-2579>

## チブリ登山道整備計画について

北市 正

今年度のチブリ登山道整備は、去年の当会主催「第3回白山登山道ミーティング」での検討内容を踏まえ、3つの大きな特徴を盛り込んで実施します。

一つ目は「外来種対策」。チブリ尾根登山道では現在、外来種対策は避難小屋に除去ブラシ設置と一部の方々による地道な除去活動が行われています。当会では昨年、市ノ瀬～別山の外来種現状調査を実施し、繁殖の実態と傾向を調べた上で、今年度から本格的な外来種対策を始めます。6/11(土)に猿壁登山口周辺のオオバコを中心とした外来種除去とマットの設置を実施します。場所が登山口ですので、半日作業で親子参加可能な作業レベルとし、多くの参加を募集します。猿壁～避難小屋の集中除去は、7/23(土)に実施します。

二つ目が「稜線の幅広刈り込み」。去年の登山道ミーティングで討議され、高茎草原と笹原の入れ替わりをより自然攪乱に

近い頻度となる刈り込み方法として実施します。機械刈込5年目の今年は幅広(左右約1m、通常は50cm)で実施します。刈り込み実施は6/4(土)、結果の把握のための植生調査は8/16(火)に実施予定です。

最後は、昨年同様に実施する「集中作業日」です。労山各会の参加日を集約し、6/26(日、予備日7/2)に下草刈り込み、9/11(日、予備日9/17)は登山道整備を実施します。昨年同様、多くの方に集中参加して頂く事で、効率よく効果的な作業を行えると期待しています。

当会のチブリ登山道整備も今年で14目を迎えました。今年は外来種対策も盛り込み、単なる登山道維持管理業務だけでなく、充実した内容の年となります。実施計画は別表の通りです。体力に自信のない方や初めての方でも参加可能な活動回がありますので、お気軽に不明な点は問い合わせ頂き、多くの方の参加をお待ちしております。

【2016年度計画】

実施日	曜日	作業内容	備考
6月4日	土	避難小屋まで巡視、稜線部刈り込み(幅広)	稜線は機械2台で上下から刈り込み
6月11日	土	猿壁登山口に外来種マット設置、登山口広場の外来種除去	午前中に家族参加可能レベルで実施
6月26日	日	集中作業日(下草刈り込み)	
7月2日	土	々(予備日)	
7月3日	日	南縦走路合流点まで巡視(1回目)	
7月16日	土	南縦走路合流点まで巡視(2回目)	
7月23日	土	猿壁～避難小屋外来種一斉除去	環白山と協働
8月14日	日	南縦走路合流点まで巡視(3回目)、小屋上部下草刈り込み	
8月16日	火	植生調査	※予定
8月17日	水	石川県白山自然保護センターとの意見交換会	※予定
9月11日	日	集中作業日(登山道整備)	ブルーベルが上部をする場合は10・11日で調整
9月17日	土	々(予備日)	
9月24日	土	南縦走路合流点まで巡視(4回目)	
10月23日	日	避難小屋まで最終巡視、撤収	
11月26日	土	第4回白山登山道ミーティング	吉野谷セミナーハウスで実施予定

館裏山 自然観察会より



<春の一日>



<河内の水道橋>



ノアザミ

総会 三谷氏の講演より



<あとがき>

山が恋しい季節になってきました。皆さんの山の情報を、当会までお寄せください。会報にも掲載しますので、よろしくお願いします。(加藤)